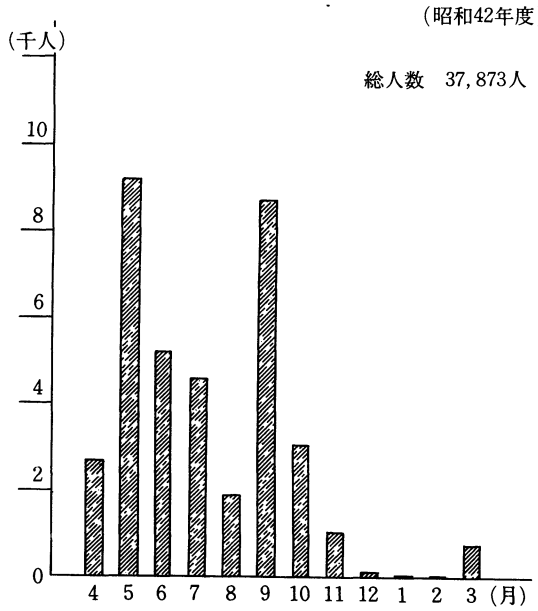
3　信夫ケ丘陸上競技場

別表6、7のとおり使用総人数は37,873人、件数でみると高校が大学・一般の利用者より約2倍であるのは、陸上競技の特質からみて当然のことである。

また一般者の使用内容はソフトボール練習あるいは試合のための使用であり、野球場使用が連日 100%に近い状況であるため、はみ出した一般者の利用にソフトボールにかぎり陸上競技場の使用を許可しているからである。その他、サッカー練習のための使用が若干ふくまれている。

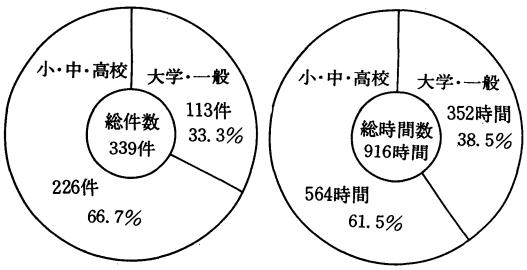
別表6　陸上競技場各月（4～3月）の使用総人数比較

（昭和42年度）



別表7　陸上競技場使用状況調（件数、時間数）

（昭和42年度）



大学・一般の使用はソフトボール練習のためが過半数を占め、次いでサッカー練習である。

区分 / 時間	高校まで		大学・一般		合　計	
	件数	延時間	件数	延時間	件　数	延時間
1時間	8	8	38	38	46	46
2	173	346	31	62	204	408
3	14	42	7	21	21	63
4	12	48	11	44	23	92
5時間	9	45	4	20	13	65
6	4	24	5 4 (1)	30	9	54
7	1	7	4 3 (1)	28	5	35
8	2	16	9	72	11	88
9	2	18	3	27	5	45
10	1	10	1	10	2	20
計	件 226	時間 564	件 113	時間 352	件 339	時間 916
総件数 総時間数との百分比	% 66.7	% 61.5	% 33.3	% 38.5		

〔備　考〕　上記のほか個人使用券（1時間券）使用者は次のとおり。

高校まで	85件	85時間
大学・一般	2,942	2,942
計	3,027	3,027

4　相　撲　場

相撲場の利用は甚だ低調である。本年度は合宿所の利用とあわせて使用効率を高めるべく県北相撲協会等の関係者と協議しその対策を検討した。その結果、高校7件 200人、大学・一般6件65人、計13件 265人と例年より練習のための利用も増し、次年度よりの利用増が期待できる。

5　土湯スケート場

第13回県高校スケート競技大会、第20回県体スケート競技大会、第2回県北スピードスケート選手権大会、第12回市民体育祭スケート競技大会、第1回県高校スケート競技新人大会等の競技会に利用されたほか、使用料無料ということとスケート愛好者の増加にともない利用者の数も多かった。

6　各施設別、月別使用料については別表8のとおりである。

別表8　各施設別、月別使用料状況

月	体育館	野球場	陸上競技場	相撲場	計
4	円 384,750	円 46,550	円 29,830	円	円 461,130
5	556,190	64,500	52,080		672,770
6	315,700	68,450	48,240		432,390
7	363,660	80,600	42,900	600	487,760
8	346,530	36,850	40,100	250	423,730
9	262,940	41,850	41,650	600	347,040
10	465,420	56,600	53,400	600	576,020
11	237,750	25,650	28,850		292,250
12	136,070	900	3,550		140,520
1	215,790		1,800		217,590
2	100,540	600	1,050		102,190
3	415,070	17,700	2,990		435,760
計	3,800,410	440,250	346,440	2,050	4,589,150